

武蔵野市民意識調査報告書からの内容の推移

テーマ	平成15年調査	平成22年調査	変化	備考			
調査対象	調査方法	848人/1176人中(72.1%) 訪問配布一訪問回収法	1672人/3500人中(47.8%) 郵送配布一郵送回収法	有			
	18歳以下子ども いる回答者割合	234人(27.6%)	899人(53.7%)	有	子育て世帯の回答増加		
	介護が必要な同 居者の有無	—	215人/(12.9%)	—	新規項目		
	居住年数別	3年未満(17.6%) 3～8年(15.2%) 8～20年(15.2%) 20年以上(51.9%)	1年未満(4.2%) 1～5年(14.2%) 5～10年(11.6%) 10～20年(18.9%) 20年以上(49.6%)	無			
地域への関心・定住意向	地域への関心度	関心がある 市全体(86%) 居住地域(75%) (うち非常に関心がある18%)	関心がある 市全体(89.5%) 居住地域(89.6%) (うち非常に関心がある:35.8%)	有	居住地域への関心増 (40代、60代、70代、80 歳以上で関心が高い)		
	近隣との交際	挨拶する程度(52%) 立ち話(24%) おすそわけ(9%) 家で飲食(4%) つきあいなし・無回答(12%)	挨拶する程度(53.2%) 立ち話(26.5%) おすそわけ(8.8%) 家で飲食(2%) つきあいなし・無回答(9.5%)	無			
	定住意向	住み続けたい(68%) 移動したい(7%) わからない(居るだろう)(19%) 関心なし・無回答(6%)	住み続けたい(84.6%) 移動したい(3.5%) わからない(9.7%) 関心なし・無回答(2.2%)	有	定住を積極的に希望す る割合増		
	定住前の居所	—	市内(30.7%)、東京市部(20.5%)、23区 (28.7%)、都外(19.1%)	—	新規項目 市内での転居が多い		
	武蔵野市に対する 好ましさ	好きだ(57%)、まあ好き(40%)、好きでない(2%)、わからない(1%)			—		
		武蔵野市が 好きな理由	交通の便(76%) 買い物(69%) 公園・緑(68%) 文化スポーツ設備(35%) 治安(30%) 高齢者・障害者施設(26%) 公害が少ない(22%) 健康・医療施設(20%)・・・	交通の便(78.8%) 買い物(71.6%) 公園・緑(66.6%) 治安(43.6%) 仕事通学に便利(35.5%) 公害が少ない(33.5%) 文化スポーツ施設(29.1%) 健康・医療施設(26.9%)・・・	無	子育て環境や福祉施設 についての評価が伸び ていない	
		武蔵野市が 好きでない理由	(回答者総数19人、各回答3～1票) 公園が少ない、道路の整備、文化スポーツ施設、買い物に不便、騒音・公害、治安が悪い、健康・医療設備が不十分、市政参加の機会、交通の便が悪い、子育て環境、隣人との関係、高齢者施設、外国の芸術文化に触れられない、商業に不向き	交通の便が悪い(31%) 家賃・生活費が高い(25.9%) 仕事通学に不便(24.1%) 公園・緑が不十分(19%) 騒音・公害(19%) 買い物に不便(15.5%) 健康・医療施設が不十分(15.5%) 親族が市外にいるため(10.3%)・・・	—		
	生活環境の評価	よい + まあ よい	公園・緑(91%) 安全性(交通)(78%) ゴミの出し方(77%) 道路整備(77%) 災害時の安全(75%) 建物(景観など)(73%) 騒音・振動(66%)	よい + まあ よい	安全性(治安)(89.5%) 全体的な雰囲気(88.9%) 日常の利便性(87.6%) 公園・緑(87.2%) 防災・災害時の避難(78.8%) 景観・美観(77%) 道路整備(75.9%) 文化スポーツ施設(70.1%) 騒音・振動(70%) 地域活動(68.7%)	無	
	武蔵野市への誇り・愛着	感じる(73%) どちらともいえない(22%) 感じない(5%)	感じている(75.8%) どちらともいえない(19.7%) 感じていない(3.1%) 無回答(1.4%)	無			
	武蔵野市の将来像	静かで緑に囲まれた住宅都市(38%) 知的な雰囲気の文化都市(21%) 高齢者などが住みやすい福祉都市(20%) 買い物や地域交流に便利な生活核都市(13%) 学生や市民の教育都市(4%) 産業都市(2%) 行政都市(0%) その他(3%)	治安のよい安全なまち(17.8%) 高齢者や障害者が住みやすい福祉都市(17.0%) 静かで緑に恵まれた住宅都市(16.3%) 知的な雰囲気のあふれる文化都市(11.6%) 買い物やまち歩きが楽しい便利なまち(10.0%) 親子にやさしい子育てしやすいまち(9.4%) 持続可能な環境都市(5.4%) 学生や市民の学習環境が整った教育都市(1.3%) 商工業がさかんな産業都市(0.9%) その他(2.5%) 無回答(7.8%)	有	選択肢に治安や子育てを 追加することにより、 特に安全なまちである ことが期待されている 福祉都市への期待は 高い値を保っている		

テーマ	平成15年調査		平成22年調査		変化	備考		
知りたい行政情報	公共サービスの受け方(65%) 催しや行事の案内(37%) 行政や制度についての解説(31%) 市民生活についての相談(24%) 市民の意見交換(9%) その他(1%) なし(13%)		保健・医療(58%) 福祉(50%) 税金(49%) 保険・年金(44%) 防犯・防災(37%) ごみ・リサイクル(35%) 催し物・講座の情報(33%) 文化・スポーツ(31%) 市の財政状況(26%) 市の魅力・おすすめスポット(23%) 子育て(20%) 市内施設の開館日・空き状況(18%) その他(2%) なし(4%) 無回答(2%)		無	公共サービスを細分化した選択肢となっているが、各項目とも高い値となっている 自発的にイベントを開催したい、またイベントに参加したい側の情報などが求められている		
市政の情報の入手手段	望ましい手段	市報(62%) 市のHP(13%) メールマガジン(5%) 直接電話で(3%) 各種の報告(3%) ケーブルテレビ(2%) コミセン掲示板(1%) むさしのFM(0%) その他(1%)	得ている手段	市報(86.2%) 市のHP(18.3%) 市役所などに掲示したパンフレットやポスター(18.2%) 新聞・テレビ・ラジオ(18.0%) 近所の人からなどロコミ(15.8%) フリーペーパー(タウン誌など)(12.7%) コミセンのニュースや掲示板(12.7%) ケーブルテレビ(8.8%) 季刊むさしの(8.2%) 市役所の窓口(4.2%) むさしのFM(2.6%) その他(2.1%) 市政情報は得ていない(4.7%) 無回答(1.4%)	有	実際市報から得ている割合が多い HPの割合があまり伸びていない コミセンやロコミなどから情報を得る割合が15%程ある		
情報伝達の状況	伝わっている(45%) あまり伝わらない(47%) 伝わらない(6%) 無回答(2%)		充分得られている(7.5%) 必要な情報は得られている(60.4%) あまり得られていない(29.9%) 無回答(2.2%)		有	情報を得られている割合が5割→7割に上昇 若年層「あまり得られていない」率が高い		
インターネットの利用状況			利用している(66.1%) 利用していない(31.2%)		—	そのうち「市の情報の入手状況」、あまり得られていない(29.9%)と上昇		
市政に対して	1. 武蔵野市の行政はうまくいっていると思う(60%) 、そう思わない(14%)、わからない(25%)		武蔵野市政はうまくいっていると思う(50.7%) 、思わない(14.2%)、わからない(31.8%)		有	※)市政『全般』に対して「わからない」回答が増加していることに注目		
	2. 市政は市民の意見を反映していると思う(36%) 、そう思わない(27%)、わからない(36%)		市政には自分たちの意見が反映されていると思う(17.6%) 、思わない(31.9%)、わからない(45.9%)		有	市政に市民の意見が反映されていると感じる割合が減少		
	3. 行政は何をどのように行っているかわからない そう思う(45%)、そう思わない(33%)、わからない(21%)		市政は何をどのように行っているか分かりにくい そう思う(45.5%)、思わない(24.1%)、わからない(24.6%)		有	※)市政『全般』に対して「わからない」回答が増加していることに注目		
	市政に対する評価	市民の権利要求意識	A. 市民は意見反映の努力をしていると思う(34%) 思わない(34%) わからない(31%)		市民は自分たちの意見を市政に反映させるよう努力していると思う(26.2%) 、思わない(29.4%)、 わからない(40.4%)		有	「そう思う」「思わない」割合がほぼ同率、「わからない」の増加(無関心か?)
			B. 税負担より行政サービス低下を我慢する そう思う(42%) 思わない(43%) わからない(14%)		市民の負担を増やしても行政サービスを拡大充実させるべきだ そう思う(19.7%) 、思わない(55.8%)、 わからない(20.2%)		有	負担増を望まない回答が増加
			C. 市民は市政に頼りすぎる そう思う(54%) 思わない(29%) わからない(16%)		自分たちでできることは行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むことは必要 そう思う(76.5%) 、思わない(6.2%)、 わからない(14.1%)		無	市民参加の意識か?
			D. 生活や地域問題の解決を市に要求すべきだ そう思う(75%) 思わない(15%) わからない(9%)					
E. 受益負担者は納得できない そう思う(32%) 思わない(57%) わからない(10%)								
F. 行政サービス向上のため市職員を増やす そう思う(26%) 思わない(65%) わからない(9%)								
施策に対する満足度	満足【49%】 不満足【25%】 無関心【26%】		満足(3.6%) ある程度満足(52.2%) あまり満足していない(15.0%) 不満足(2.8%) わからない(19.6%) 無回答(6.8%) ※満足【55.8%】 不満足【17.8%】 無関心【26.4%】		有	(ある程度)満足が約7%増加、無関心層は変化なし		

テーマ	平成15年調査	平成22年調査	変化	備考		
市政に対して	施策の重要度	災害に強いまちづくり(92.5%) 高齢者福祉の推進(92.1%) 健康増進施策の充実(90.1%) 上下水道の再整備(89.2%) ごみ減量の促進(88.6%) 自転車対策の推進(88.5%) 安全な市民生活の確保(88.0%) 障害者福祉の推進(87.8%) 子ども施策の充実(86.5%) 行財政改革の推進(86.2%) 地域福祉の推進(85.9%) 小中学校教育の充実(85.4%) 緑化の推進と水辺空間の整備(85.1%) 交通システムや道路環境の整備(84.9%) 環境負荷が少ないまちづくり(84.3%) 住宅施策の推進(81.2%) 青少年施策の充実(81.0%) 生涯学習の推進・市民文化の発展(80.3%) 情報化の推進(74.4%) 市民参加・市民協働のまちづくり(70.5%) 平和・都市交流・国際交流の推進(61.2%)	—			
	ニーズ得点 満足度と重要度の分析	自転車対策の推進(10.288) 行財政改革の推進(8.951) 高齢者福祉の推進 小中学校教育の充実 子ども施策の充実 住宅施策の推進 地域福祉の推進 環境負荷が少ないまちづくり 障害者福祉の推進(8.102)・・・	—	身近な問題が上位 満足度・重要度を4点評価とし、平均値から計算【ニーズ得点】=【重要度平均】×(5-【満足度平均】)		
事業に対して	30%以上	「ムーバス」3号・4号運行(77%) 吉祥寺美術館開館(48%) 「レモンキャブ」(46%) 「0123はらっぱ」 「武蔵野地域自由大学」 新武蔵野商工会館オープン アンテナショップ「麦わら帽子」(36%)	30%以上	路上禁煙地区の設定(57%) 証明書自動交付機の設置(42%) 中学校給食の完全実施(39%) 「タウンミーティング」の開催 「ホワイトイーグル」「ブルーキャブ」の充実 ごみチャレンジ600グラム 新「武蔵野クリーンセンター」建設の検討(30%)	有	街頭で目にする項目、多くの市民が生活に直接かかわる項目 ホワイトキャブとブルーキャブの認知度上昇
	20%以上30%未満	「土曜学校」 駅周辺清掃事業・吉祥寺朝一番隊発足 「ホワイトイーグル」 武蔵野赤十字病院と小児救急体制の強化	20%以上30%未満	特別養護老人ホーム「さくらえん」開設 大型有料駐輪場開設と路上駐輪場閉鎖 中央市政センターの夜間・休日窓口開設 上下水道料金の改定 市立小中学校耐震補強工事の実施 武蔵野赤十字病院と小児救急体制強化 「武蔵野プレイス」の建設 自転車安全利用講習会の開催	有	必要がある市民には認知されている項目 小児救急体制強化(武蔵野赤十字病院)は横ばい
	20%未満	「こどもテンミリオンハウスあおば」 ストリートスポーツ広場の設置 「地域子ども館あそべえ」 「ブルーキャブ」 「むさしのブックスタート事業」 鳥取県との自然体験の共同事業の実施 「ハートランド富士見」 「グリーンパートナー事業」	20%未満	市内小中学校へ大型雨水貯留浸透施設の設置 認可幼稚園・認可保育所の開設 産前・産後支援ヘルパー事業 「中央通りさくら並木公園」 「仙川しらかし緑地」 認知症高齢者に対する見守り支援事業の実施 高齢者等に対する災害時要援護者対象事業 まちづくり条例の制定 武蔵野市観光推進事業の設立 学童クラブ入会条件の緩和 市民協働サロンの設立 市立保育園の設置運営主体の変更 「みどりの子ども館」の開設 「脳卒中地域連携バス」の実施	有	必要がある市民自体が限定される項目
高齢者・障害者の支援	選択肢あり 高齢者が健康を維持していくための支援や、仕事の場を拡大(61%) 高齢者や障害者が、地域において尊厳を持ち自立して生きられるように(51%) 介護保険は、ケアマネやホームヘルパーなどの事業者の質の確保に(41%) 特別養護老人ホームやテンミリオンハウスなどの施設の整備(30%) サービス拡大のため、さまざまな障害に対応できる介護者を育成(26%)	自由回答 ・ボランティア活動したい高齢者向けに、参加方法やきっかけなど引き出して欲しい ・高齢者に比べ障害者が自立して暮らす選択肢が少ない ・一人暮らしの高齢者向けに、電話でお願いできるサービスを ・今後増える一人暮らし高齢者のために、住宅や介護施設を充実して ・他市に比べ福祉が充実していると聞かすが実感できない ・隣組の復活	—			

テーマ	平成15年調査	平成22年調査	変化	備考		
事業に対して	子どもたちの問題	<p>自然体験を取り入れた教育を積極的に行う(56%) 家族の絆を強めていく取り組みが必要(51%) 放課後や土曜日に、安全に、自由に遊んだり学んだりできる場(47%) チームティーチングなどによる基礎学力の向上や、特色のある学校教育を推進(25%) 保育園の質の向上と充実、0123型施設の増設などを進める(22%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・体験教室など充実していて良い ・親子教室やコンサートに応募するが当選しない、定員を増やして欲しい ・小学校のパソコン教育の充実を ・0123はらっぱによく行くが、北町にも建設してほしい ・子育てしやすいので良い ・もっと子育て施設の充実を 	—	
	緑化・地球環境問題	<p>市民が省エネルギーに取り組んだり、資源物のリサイクルに努める(66%) 市が率先してグリーンエネルギーの導入やCO2排出抑制対策に取り組む(52%) 公園や緑地の拡大や、大規模開発への厳しい指導などを積極的に行う(47%) ごみ最終処分場を持たせるため、焼却灰の再使用や、できるだけ焼却するなど(27%) ごみの排出抑制やごみ減量の意識を高めるため、家庭ごみの有料化(18%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題にもっと積極的に取り組んでほしい、必要であれば税負担も必要 ・コンポストの普及 ・玉川上水の散歩道を残してほしい ・農地は景観保全にも役立つので、農家の方の保護をお願いしたい ・上下水道施設の老朽化への対応 	—	
	道路整備・交通問題	<p>幹線道路は歩道・車道を分離し、歩行者が安心して通れる道とする(66%) 交通ルールの徹底やマナー向上のための啓発(44%) 高齢者、障害者に配慮した交通機関の整備や駅のバリアフリー化(43%) 生活道路は、徐行運転するなど、歩行者優先のみちづくりを進める(40%) ムーバスを、市民の足として今後もさらに拡大する(36%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の段差の整備、バリアフリー化 ・自転車のマナー向上 ・もっと駐輪場が必要 ・ムーバスのルート拡大(境～市役所) ・ムーバスの時間拡大(通勤・通学時間帯) 	—	
	吉祥寺のまちづくり	<p>自動車の渋滞解消や、駐輪場の整備を充実する(66%) つきまとい勧誘、建物への落書きをなくすなど、安全で清潔なまちに(57%) 音楽、映像、美術、演劇など、芸術に気軽に親しめるまちに(45%) 駅周辺の再開発や道路整備などハード面の整備に力をいれる(27%) 商店街活性化のために積極的に投資する(20%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・吉祥寺駅南口を整備してほしい ・三鷹駅北口の電線の地中化を他地域でも実施してほしい ・境南町は市の施設が遠く、バスも通っていない ・武蔵野プレイスに期待している ・タバコのマナー向上を(禁止エリアの取り締まり) 	—	
	文化・スポーツ・生涯学習	<p>さまざまな年代層を対象としたスポーツ教室や野外活動事業を幅広く実施(48%) 文化会館、スイングホールなどで質の高い音楽を身近で安く聴ける企画(42%) 図書館は基本的な市民サービスの一つであり、蔵書の一層の拡大を図る(40%) 芸術に親しみ、文化活動を行えるよう、施設を充実する(38%) 武蔵野地域にある大学で、希望者が講義を受けられる仕組みを充実させる(30%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館が遠いので、小さい施設でも近くにあればと思う ・演劇やコンサートは近隣の市や区に比べ偏りがあり、あまり利用していない ・図書館返却ポストを駅にも設置して ・スポーツ施設の老朽化への対応 	—	
	情報公開と個人情報保護	<p>情報公開を進めるにあたり、プライバシー保護に注意を払う(67%) セキュリティを高くしても故意や過失で情報が漏れるため、防ぎくみ(59%) 市役所には個人の情報が集まるので、適正・厳格に管理(47%) 市民の関心が高い分野の市政情報を、積極的にわかりやすく提供(27%) 情報公開は、市民が市政を見守り、参加するための条件(21%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・市の情報をメルマガなどで配信しては？ ・市のHPは見にくい 	—	
	市政のあり方	<p>市民がどの程度満足しているかをつねに意識して行政を進めていく(63%) 民間の手法を取り入れた行政の見直しを考える(41%) 職員定数の見直し、外部委託の推進などいっそうの行政改革を進める(33%) 職員を削減し市民の嘱託員を雇用など、市役所の仕事に市民が参加できるように(32%) 公共サービスを行政が独占せず、NPOなど非営利団体と協力してやっていく(24%)</p>	自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ・働き盛りの単身者や40～60代にもサービス拡充してほしい ・市立の畜場をつくってほしい ・土曜日も受付してほしい(市政センター・市役所・粗大ごみ、など) ・効率化・合理化による財政の健全化を ・事業の内容があまり伝わらない 	—	

テーマ	平成15年調査		平成22年調査		変化	備考
事業に対して	男女共同参画社会	選択肢あり 女性が働きやすい環境のため、保育園、子育て支援センターなどを整備(55%) 仕事で個性と能力を生かせるよう、企業は採用・雇用制度を見直す(49%) 男女共同参画は、互いに違いを尊重しながら進めていくべき(43%) 「男は仕事女は家庭」という考えをなくし、育児・家事・介護など協力しあう(41%) 子どもたちが固定観念にとらわれず、適性に応じて選択できるような教育(26%)	自由回答	・出産しても正社員で働きたいので、保育園の充実を ・少子化対策と子育て支援を充実させて、若年層の定住化へつなげる ・起業したいが資金援助についてわからない	—	
	国際交流・国内交流	選択肢あり 青少年の時から国際交流を通じての体験を深める(51%) 地方都市と提携し、自然体験の場を広げるとともに、自然の保存に助力(45%) 国内都市と友好関係を結び、文化やスポーツなどの交流、災害時は助け合う(39%) 外国人留学生と交流を盛んにし、また奨学金の援助をする(21%) 外国に市民交流団をおくり、外国からも市民団を招いて交流を図る(19%)	自由回答	・もっと交流が増えるとよい(勉強になる)	—	
	参加したいボランティア活動	選択肢あり 趣味スポーツなどグループ活動(35%) まちの清掃、美化などの活動(20%) まちの緑化、公園の管理(19%) 高齢者の話し相手や身の回りの世話(18%) 外国人の相談、国際交流への協力(17%) 子ども会や野外活動など(17%) コミセン活動への参加協力(17%) 福祉施設の手助けや援助(15%) 防犯、交通安全への協力(14%) バザーや募金活動に協力(13%) PTA活動への参加や協力(10%) 点訳、手話、朗読などの活動(9%) 防災、消防の市民組織の協力(9%) 障害児・障害者の手助け(8%) 特に参加したいものはない(19%)	自由回答	・高齢者の方でもボランティアに参加したい方がいる	—	H15年: (若年男性)趣味スポーツ、国際交流 (中年男性)まちの緑化、清掃美化 (高年男性)コミセン活動 (若年女性)子ども会、国際交流 (中年女性)高齢者、福祉施設 (高年女性)コミセン活動
危機管理について(震災後)	ボランティア活動への参加状況	参加状況: 積極参加(5%) 一応参加(8%) 経験あり(24%) 経験なし(62%) 無回答(1%) 今後の意向: 積極参加(4%) 休日などに(14%) 余裕があれば(53%) 高齢病氣(6%) 参加しない(9%) わからない(14%)			—	
	犯罪被害への不安感	不安がよくある(6%) たまに不安(43%) あまりない(39%) 全くない(12%)			—	
	不安を感じる犯罪・事故の傾向	ピッキングなどによる空き巣(72%) 通り魔的な犯罪(50%) 路上強盗やひったくり(46%) 少年非行の凶悪化、粗暴化(40%) 強引な訪問販売などの悪質商法(33%) 自転車の暴走運転などによる事故(31%) 自動車、自転車等の乗り物盗難(30%) 来日外国人による犯罪の増加(30%) 迷惑電話などによる被害(29%) 誘拐など子供が巻き込まれる犯罪(28%) 高齢者が狙われる詐欺などの犯罪(27%) インターネットを利用した犯罪や情報流出(27%) 自動車の飲酒運転などによる事故(22%) 検挙率が戦後最低となったこと(22%) 痴漢・ストーカー(21%) 刑法犯件数が戦後最高となったこと(15%) 薬物乱用にもなる犯罪(10%) ひとつもない・わからない(3%)			—	
	市民生活を守るための対策	市と警察、市民が協力して防犯に取り組む(73%) 地域の人が協力して、地域の安全を守る(43%) 市民一人ひとりが自衛する(36%) 市が率先して防犯対策を行う(35%) ひとつもない・わからない(1%)			—	